

四三五六番

我が母わははの 袖そでもち撫なでて 我わが故からに 泣なきし心こころを  
忘わすらえぬかも

四三三七番

葦垣あしかきの 隈くまとに立たちて 我わ妹子もこが 袖そでもしほほに  
泣なきしそ思もはゆ

四三五八番

大君おほきみの 命みこと恐かしこみ 出いで来くれば 我わぬと取り付つきて  
言いひし児こなはも

四三五九番

筑紫つくし辺へに 舳へむ向むかる舟ふねの いつしかも 仕つかへ奉まつり  
て 国くにに舳へむ向むかも